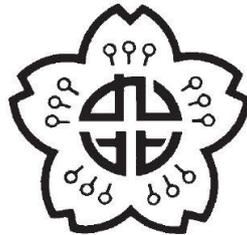


令和7年度

# 運営に関する 計画・自己評価

最終評価



大阪市立九条北小学校

# 大阪市立九条北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## ◎学校教育目標

人間性豊かで 実践力のある児童の育成をめざす。

(校訓) ・よく考える子(知) ・すなおな子(徳) ・がんばる子(体)

知・徳・体のバランスのとれた未来を切り拓く「生きる力」を育成する。

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

**「子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現」に向けては、次のとおりである。**

- 「いじめアンケート」を学期に1回実施し、児童の実態把握に努めることができた。またスクリーニング会議・児童理解実践交流会をひらき、配慮の必要な児童の実態を職員間で共通理解することができた。
- 「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について81%の児童が肯定的回答をしている。校内調査(児童アンケート)では、「廊下や階段を正しく歩き、安全にすごしている。」の項目に対しても、肯定的回答が80%に達しているものの、声掛けを継続しないとすぐに乱れるため、継続指導が必要である。
- 全市共通目標の他の2項目「年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる」「年度末の校内調査において、新たに不登校となる児童の割合を前年度より減少させる」については、概ね目標数値に至っている。
- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的回答の割合は74%であった。一方、校内調査(保護者アンケート)の「子どもが楽しく喜んで学校に行っている」では75%の肯定的回答と昨年度よりも1ポイント下回り、目標数値の85%には至らなかった。
- 「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」の項目について、校内調査(児童アンケート)では肯定的回答が90%と、ほぼ目標通りであった。
- 校内調査(児童アンケート)での「児童会の活動は、いろいろと工夫して楽しい」の項目について、肯定的回答が94%と、目標数値を6ポイント上回った。

**「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」に向けては、次のとおりである。**

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較すると、  
99.4⇒102.7、102.5⇒99.5、105.1⇒103.3とあまり大きな変化はなかった。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合は、  
10.0⇒3.4、3.1⇒3.2、3.8⇒14.8と学年により差があった。  
学年に上がるにつれ、内容が難しくなることも影響しているようだ。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合は、  
37.9⇒21.9、61.5⇒19.4、5.6⇒14.8となっており、学年による差が大きい。

- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は71%であり、昨年度の73%よりも減少した。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査について、体力合計点を見ると、男子は全国も上回り、女子も、全国ほどではないが大阪市を上回っている。特に、立ち幅跳びでは、男女ともに良い結果を残している。しかし、課題としている長座体前屈は、男女ともに大阪市や全国の平均を大きく下回っている。シャトルランの平均の記録は、男女ともに大阪市を上回ることができたが、男子は全国には及ばなかった。
- 「学校の学習はわかりやすく楽しい」の項目について、校内調査（児童アンケート）では、89%の肯定的回答があり、目標数値を上回った。同様の校内調査（保護者アンケート）でも、肯定的回答が89%となっており、昨年度の84%を上回り、児童アンケートの肯定的回答と同程度となった。
- 「ICT を活用した授業は分かりやすく楽しい」の項目について、校内調査（児童アンケート）では96%の肯定的回答があり、目標数値を11ポイント上回ることができた。本校のICT活用率が高いことから、児童にも身につけていると考えられる。
- 校内調査（児童アンケート）の「休み時間に、運動場で遊ぶことがすきだ」では、全校児童の肯定的回答が83%であった。前年度より減少しているが、元気に外遊びをする児童は多い。
- 「手洗いを意識することができた」の項目について、校内調査（児童アンケート）では、88%の肯定的回答があり、目標数値は2ポイント下回った。環境健康委員会が工夫して発表することで手を洗うことについての児童の意識を高めるといった活動を行ってきた。
- 「外国語活動を通して、友だちとコミュニケーションをとることができた」の項目について、校内調査（児童アンケート）では肯定的回答が78%と目標数値には及ばなかったが、パワーアップタイムでDREAM等を活用して外国語活動を行っており、英語を親しむ機会を設けている。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進 その1】（安全・安心な教育環境の実現）

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標（小学校）

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査（児童アンケート）の「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

#### 学校の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。
- 令和7年度の校内調査（児童アンケート）の「火事や地震の時に、どのように行動したらよいか知っている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を97%以上にする。

## 【安全・安心な教育の推進 その2】(豊かな心の育成)

### 学校の年度目標

- 令和7年度末の校内調査(児童アンケート)の「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。
- 令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「児童会活動は、いろいろと工夫して楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。

## 【未来を切り開く学力・体力の向上 その1】(だれ一人取り残さない学力の向上)

### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

### 学校の年度目標

- 令和7年度末の校内調査(児童アンケート)における「学校で学習したことを理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。

## 【未来を切り開く学力・体力の向上 その2】(健やかな体の育成)

### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査(児童アンケート)における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 学校の年度目標

- 令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「健康な体をつくるために、バランスのとれた食事をとることを心がけている」という項目を設定し、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)
- 令和7年度末の教職員アンケートで、教育の質の向上を図るために、学校課題や児童生徒情報等の情報共有や、研修会の充実を図っていると回答する教職員の割合を100%にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 学校の年度目標

- 令和7年度の「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教員の割合を100%とする。[ただし、管理職を除く](R6年度 100%)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進 その1】(安全・安心な教育環境の実現)

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6末 78.5%)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R6 82.5%)
- 令和7年度末の校内調査(児童アンケート)の「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。(R6 91.4%)

#### 学校の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6 88.2%)
- 令和7年度の校内調査(児童アンケート)の「火事や地震の時に、どのように行動したらよいか 知っている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を97%以上にする。(R6 97.0%)

### 【安全・安心な教育の推進 その2】(豊かな心の育成)

#### 学校の年度目標

- 令和7年度末の校内調査(児童アンケート)の「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。(R6 93.5%)
- 令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「児童会活動は、いろいろと工夫して楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6 91.4%)

### 【未来を切り開く学力・体力の向上 その1】(だれ一人取り残さない学力の向上)

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。(R6 -0.01pt)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。(R6 -0.02pt)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 77.5%)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6 81.5%)

#### 学校の年度目標

- 令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「学校で学習したことを理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。(R6末 92.7%)

### 【未来を切り開く学力・体力の向上 その2】(健やかな体の育成)

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。(R6 63.8%)

- 令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 75.5%)

#### 学校の年度目標

- 令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「健康な体をつくるために、バランスのとれた食事をとることを心がけている」という項目を設定し、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R6 89.6%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日に対して50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)(R6 62.7%)
- 教職員アンケートにおいて、教育の質の向上を図るために、学校課題や児童生徒情報等の情報共有や、研修会の充実を図っていると回答する教職員の割合を100%にする。(R6 100%)
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 79.9%)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

### 【安全・安心な教育の推進 その1】(安全・安心な教育環境の実現)

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は3年 97.2%、4年 86.1%、5年 74.4%、6年 87.5%で4学年平均は86.3%となり、目標(85%)を上回る結果となった。また、1・2年生を含めた全児童による校内調査(児童アンケート)における同項目では、肯定的に回答する児童の割合は94.8%であり、こちらも目標(85%)を大きく上回ることができた。

令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は3年 100%、4年 90.7%、5年 74.4%、6年 95.8%で4学年平均は90.2%となり、目標(90%)を上回る結果となった。

年度当初にいじめに関する教員研修会を行ったり、5月のいじめについて考える日・いのちについて考える日に合わせて教職員全員によるビデオメッセージを作成し、児童と共に視聴したりするなど、いじめを絶対に許さないという姿勢を学校全体で共有してきた。今後も引き続き、いじめを許さない・いじめを認めない指導を継続していく。また、職員会議やスクリーニング会議I等において、各学級における気になる児童の様子を共有し、学級や学年だけではなく、教職員全体で児童理解をはかっていくようにしていく。

令和7年度末の校内調査(児童アンケート)の「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は95.2%であり、目標(95%)を上回った。今年度も中学年以上の学級においては、SNSの便利さと危険性についての授業を行った。今後もスマホの適切な使い方について、継続して指導していく。

#### 学校の年度目標

令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は3年 100%、4年 97.7%、5年 74.4%、6年 95.8%で、4学年平均は92.1%となり、目標(92%)を達成している。

また、1・2年生を含めた校内調査（児童アンケート）における同項目では、肯定的に回答する児童の割合は93.9%であり、こちらは目標(92%)を上回ることができた。

令和7年度の校内調査（児童アンケート）の「火事や地震の時に、どのように行動したらよいか 知っている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は 99.1%であり、目標(97%)を達成することができた。今後も非常時における行動についての指導を徹底していく。

## 【安全・安心な教育の推進 その2】(豊かな心の育成)

### 学校の年度目標

令和7年度末の校内調査（児童アンケート）の「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合は96.1%であり、目標(94%)を上回ることができた。

また、令和7年度の校内調査（児童アンケート）における「児童会活動は、いろいろと工夫して楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は94.3%でありこちらも目標(92%)を上回る結果となった。

校内調査（児童アンケート）の結果は、いずれも目標を達成することができた。今後も引き続き目標を達成することができるよう、全教職員で取り組みを継続していく。

## 【未来を切り開く学力・体力の向上 その1】(だれ一人取り残さない学力の向上)

### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

令和7年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較した結果は、4年国語 (-1.60)・算数 (-0.90)、5年国語 (-0.20)・算数(-2.70)、6年国語 (+2.10) 算数 (-0.70)であり、目標の(+0.02)を達成することができたのは、6年の国語のみであった。他学年や教科が目標を達成できなかった要因として、昨年度と同様、無解答率が高いことが考えられる。たとえ難しい問題であっても、最後まであきらめず粘り強く取り組むことができるような指導を継続する必要がある。

令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、3年 95.3%、4年 97.7%、5年 76.8%、6年 70.8%で4 学年平均は 85.2%となり、目標(85%)を上回る結果となった。しかし、高学年になるにつれて肯定的に回答する割合が低くなってしまっている。内容がだんだん難しくなっていく中でも、理科への興味・関心を高められるように工夫しながら授業を実施していく。

### 学校の年度目標

令和7年度末の校内調査（児童アンケート）における「学校で学習したことを理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する児童は、91.3%となり、目標(93%)を1.7ポイント下回る結果となった。単元、日々の学習の振り返りなどの工夫を行うとともに、教職員の中でしっかりと連携を取りながら少人数学習や習熟度別学習、また通級指導教室など、学習形態の工夫や個に応じた指導の充実を図れるよう取り組みをさらに進めていく必要がある。

## 【未来を切り開く学力・体力の向上 その2】(健やかな体の育成)

### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、3年65.7%、4年67.4%、5年55.8%、6年54.2%で4学年平均は60.8%となり、目標(75%)を14.2ポイント下回る結果となった。また、1・2年生を含めた校内調査（児童アンケート）における同項目では、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は77.0%であり、こちらは目標(75%)を上回る結果であった。高学年になるにつれて、運動から遠ざかっている。目標を達成するために、児童が興味をもって体を動かす機会を増やす手立てを考えたい必要がある。

令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、83.9%であり、目標(80%)を達成することができた。今後も早寝早起きの習慣を継続することができるよう、児童への指導だけでなく、家庭からの協力も得られるような取り組みを進める。

#### **学校の年度目標**

令和7年度の校内調査(児童アンケート)における「健康な体をつくるために、バランスのとれた食事をとることを心がけている」という項目を設定し、肯定的に回答する児童の割合は95.2%であり、目標(90%)を達成することができた。食に関する指導を計画的に実施してきたことで、児童が食に関心を持ち、バランスよく食べようと意識することができた結果だと考える。今後も目標を達成することができるよう、取り組みを継続していく。

#### **【学びを支える教育環境の充実】**

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数の授業日に対する割合(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)は、82.8%(1月末現在)であり、目標(63%)を上回ることができた。

教育の質の向上を図るために、学校課題や児童生徒情報等の情報共有や、研修会の充実を図っていますかに対して、肯定的に回答する教職員の割合は、100%であり、目標を達成することができた。

令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は、83.5

%であり、目標(80%)をわずかではあるが上回ることができた。引き続き目標を達成することができるよう、図書の学習の時間や読書週間における取り組みを、継続して進めていく。

#### **学校の年度目標**

令和7年度の「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教員の割合は100%であり。[ただし、管理職を除く]目標を達成できている。

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進 その1】(安全・安心な教育環境の実現)</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6経年 78.5% 校内調査 86.7%)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R6経年 82.5% 校内調査 87.1%)</li> <li>○ 令和7年度末の校内調査(児童アンケート)の「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。(R6 91.4%)</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6経年 88.2% 校内調査 94.4%)</li> <li>○ 令和7年度の校内調査の「火事や地震の時に、どのように行動したらよいか 知っている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を97%以上にする。(R6 97.0%)</li> </ul>	<b>A</b>
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策1-1(いじめへの対応)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 職員会議の折に、「いじめ不登校対策委員会」を行うとともに、児童理解実践交流会を定期的(年間5回)に実施し、情報の共有化に努める。いじめアンケートを学期に1回実施し、実態把握に努める。</li> <li>◎ いじめ防止研修会やいじめ防止学習指導をそれぞれ年1回行い、いじめ防止の理解を深める。</li> <li>◎ 不登校児童が前年度より減少するよう人権教育を進め、学校が楽しく安心して過ごすことができる場所となるように努める。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <p>◇ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R6経年 82.5% 校内調査 87.1%)</p>	<b>A</b>
<p><b>取組内容②【施策1-3(問題行動への対応)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 問題行動への対応については、学年-生活指導部-管理職の組織を効果的に活用し、PDCAサイクルの原則に基づいて全容の把握・推移・課題の解決に向けて全力を尽くす。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <p>◇ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6経年 88.2% 校内調査 94.4%)</p>	<b>A</b>
<p><b>取組内容③【施策1-5(防災・減災教育の推進)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 地域合同防災訓練を区役所・消防署と連携して実施する。(年1回)</li> <li>◎ 地震(津波)・火災・台風を想定した避難訓練を実施する。(年3回)</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <p>◇ 令和7年度の校内調査の「火事や地震の時に、どのように行動したらよいか 知っている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を97%以上にする。(R6 97.0%)</p>	<b>A</b>

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【取組内容①】

児童アンケートで最も肯定的な回答が91.7%であり目標を達成することができた。学校が楽しいというアンケートでも、94.8%が肯定的に回答しており、充実した学校生活が営めている。これらにおける共通する取り組みは、児童理解を安定して行い情報の共有に努めた結果である。具体的には、いじめの早期発見・早期対応ができる研修会を行い、管理職・生活指導部を中心に、当該学年と協議し問題の対応に全力を尽くしたからである。

### 【取組内容②】

問題行動の対応については、常に組織的に取り組みを行い、常に的確に処理をしたことで、学校の決まりを守っていると回答した子どもの割合が92.0%を超え、目標を達成することができた。

### 【取組内容③】

「火事や地震の時どのように行動すればよいか知っていますか。」の項目について肯定的に回答する児童の割合が99.1%となっており、避難訓練を計画的に行うことがこのような結果を導いた。

## 次年度（今後）の改善点

- ・すべての項目で目標を上回っているため、次年度以降も繰り返し行っていく。
- ・数値目標は今年度のものを堅持する。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進 その2】（豊かな心の育成）</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和7年度末の校内調査（児童アンケート）の「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。（R6 93.5%）</li> <li>○ 令和7年度の校内調査（児童アンケート）における「児童会活動は、いろいろと工夫して楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。（R6 91.4%）</li> </ul>	<b>B</b>
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p><b>取組内容①【施策2-1（道徳教育の推進）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 全学年児童を対象に「思いやり月間」を設定し、全校児童で相手を思いやる気持ちを高める取り組みを実施する。</li> <li>◎ 学年に応じて、ピースおおさか・大阪歴史博物館の見学や福祉体験（車いす体験等）を実施する。</li> </ul>	<b>B</b>
<p><b>指標</b></p> <p>◇ 令和7年度末の校内調査（児童アンケート）の「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。（R6 93.5%）</p>	
<p><b>取組内容②【施策2-2（キャリア教育の充実）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ たてわり班による「全校オリエンテーリング」「卒業を祝う会」等を実施する。</li> <li>◎ 委員会を中心にした主体的な児童会の活動を行う。</li> </ul>	<b>A</b>
<p><b>指標</b></p> <p>◇ 令和7年度の校内調査（児童アンケート）における「児童会活動は、いろいろと工夫して楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。（R6 91.4%）</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p><b>【取組内容①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合は96.1%と目標を達成できている。</li> <li>・思いやり月間を継続して行っていることで、この期間だけではなく普段から友だちに親切にしたり、やさしくしたりする行動や発言がみられた。</li> <li>・各学級で日々の生活指導に加え、他教科でも相手の気持ちを考えることについて、関連付けた学習指導が行われている。</li> <li>・社会見学や出前授業は充実しており、多くの児童が興味を持って参加し、学ぶことができた。</li> </ul> <p><b>【取組内容②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「児童会活動は、いろいろと工夫して楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合は94.3%と目標を達成できている。</li> <li>・児童会活動や委員会活動が充実しており、児童が主体的に活動することができた。</li> <li>・夏の集い、全校オリエンテーリング等の行事では、代表委員会を中心に6年生がリーダーシップをとって活動することができた。</li> <li>・たてわり班活動を積極的に行うことで、異学年同士の交流を深めることができた。班活動内だけでなく、登校を一緒にする姿や、休み時間一緒に過ごす姿もみられた。</li> </ul>	

### 次年度（今後）の改善点

- ・児童アンケート「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」で、数値は達成できているが、児童同士些細なトラブルも少なくないため、今後も継続して取り組みを行っていく。
- ・社会見学や体験学習は児童が学ぶ場として大変効果的であるが、準備や下見、事前学習に時間を割かなければならない場合も多いので、内容や行先を精選していくことも必要。
- ・たてわり班の活動は、引き続き集会などで取り入れていく。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り開く学力・体力の向上 その1】(だれ一人取り残さない学力の向上)</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。(R6 -0.01pt)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。(R6 -0.02pt)</li> <li>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 77.5%)</li> <li>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6 81.5%)</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内調査における「学校で学習したことを理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。(R6 92.7%)</li> </ul>	<b>B</b>
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策4-2(「主体的・対話的で深い学び」の推進)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 基礎学力の向上を図るため、朝学習やパワーアップタイムなどで計算や漢字、音読や視写など内容を工夫して継続的に取り組む。</li> <li>◎ 研究教科である音楽科を中心に、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりや指導の工夫に取り組む。</li> <li>◎ 少人数学習や習熟度別学習、通級教室など学習形態を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。</li> <li>◎ 社会見学や出前授業などを活用した取り組みを行い、体験活動を生かした学習内容を工夫する。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 校内調査における「学校で学習したことを理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。(R6 92.7%)</li> </ul>	<b>B</b>
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p><b>【取組内容①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習やパワーアップタイムなどの時間に、各学級で実態に応じた課題を設定し、基礎基本の定着に向け、継続して取り組んだ。</li> <li>・研究授業や研修会を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりや指導の工夫を学び、日々の中で実践し生かすことができた。</li> <li>・学年や担当者と連携を図りながら、少人数学習や習熟度別学習、通級教室など学習形態を工夫した指導を行うとともに、児童の実態把握に努め、個に応じた指導が充実するように取り組んだ。</li> <li>・各学年で、社会見学や出前授業などを活用した取り組みが行われた。</li> </ul>	

### 次年度（今後）の改善点

- ・児童アンケート「学習の理解」の項目について、肯定的回答が91.3%と目標より1.7%低かった。
- ・単元、日々の学習の振り返りなどの工夫（自己肯定感を高める工夫）
- ・基礎学習の定着を図る工夫（反復練習、デジタルドリルの活用）
- ・学力差や個別最適化などに対応した授業づくり
- ・社会見学や出前授業の精選

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り開く学力・体力の向上 その2】（健やかな体の育成）</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標（小学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。（R6経年 63.8% 校内調査 72.0%）</li> <li>○ 令和7年度の校内調査（児童アンケート）における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（R6 75.5%）</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和7年度の校内調査（児童アンケート）における「健康な体をつくるために、バランスのとれた食事をとることを心がけている」という項目を設定し、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（R6 89.6%）</li> </ul>	<b>A</b>
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策5-1（体力・運動能力向上のための取組の推進）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 子どもの体力向上のための取り組みの充実として、すべての学級で、みんな遊びを学期に1回以上行う。また、アクティブタイムやアクティブカードを積極的に活用し、体力向上をはかる。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</li> </ul>	<b>A</b>
<p><b>取組内容②【施策5-2（健康教育・食育の推進）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 健康的な生活習慣を身につけるために、保健強調週間を学期に1回設定する。保健だよりや保健指導、委員会活動を通して児童や保護者に啓発する。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 令和7年度の校内調査（児童アンケート）における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻におきていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（R6 75.5%）</li> </ul>	<b>A</b>
<p><b>取組内容③【施策5-2（健康教育・食育の推進）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 児童の食への関心が高まるような食に関する指導を計画し、実施する。 食に関する指導をより効果的に進めるために、給食時の献立やおたより等を活用した日々の指導を積極的に行う。</li> <li>◎ 給食だよりや委員会活動を通して、児童の意識向上をはかる。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 令和7年度の校内調査（児童アンケート）における「健康な体をつくるために、バランスのとれた食事をとることを心がけている」という項目を設定し、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（R6 89.6%）</li> </ul>	<b>A</b>

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【取組内容①】

子どもの体力向上のための取り組みとして、どの学級も学期に1回以上のみんな遊びに取り組んだ。委員会活動を通してアクティブタイムを行ったりアクティブカードを活用したりして運動する機会を増やし、体力向上につなげた。

経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が84.9%と目標の85%をわずかに下回っている。

### 【取組内容②】

保健強調週間を各学期、計画的に実施した。その際、委員会活動を通して啓発したり、子どもや保護者の意識づけを図れるよう健康チェックカードを工夫したりし、規則正しい生活習慣や手洗いの定着を図ってきた。また、保健だよりや保健指導においても、知識を身に付け、行動にうつせるよう働きかけた。

それにより、児童アンケートの肯定的な回答が83.9%と初年度から徐々に数値を伸ばすことにつなげることができた。

### 【取組内容③】

食に関する指導や日々の学級指導、給食だより、委員会活動を通して、児童の意識向上をはかることで、食への関心が高まった。児童アンケートにおける「健康な体をつくるために、バランスのとれた食事をとることを心がけている」という項目に対して、肯定的に回答する児童の割合が95.2%となり、90%以上に達成した。

## 次年度(今後)の改善点

今後も継続した取り組みを行う。

規則正しい生活習慣の確立のため、保護者への啓発と共に、児童が自ら意識できるよう、実態に応じた取り組みを行って知識を身に付ける必要がある。

体育館建て替え工事期間における体力・運動能力向上の取り組みを計画していく必要がある。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の63%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) (R6 62.7%)</li> <li>教職員アンケートにおいて、教育の質の向上を図るために、学校課題や児童生徒情報等の情報共有や、研修会の充実を図っていると回答する教職員の割合を100%にする。(R6 100%)</li> <li>令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6経年 79.9% 校内調査 79.4%)</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教員の割合を100%とする。[ただし、管理職を除く] (R6 年度 100%)</li> </ul>	<b>A</b>
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策6-1 (ICT を活用した教育の推進)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝の用意や学習の振り返り、パワーアップタイムなどで、1日1回は必ずまなびのポータルを通して「心の天気」を入力するようにする。</li> <li>授業の中でアプリを活用したり、デジタルドリルで学習を深めたりするなど、児童が学習者用端末を使う場面を工夫する。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の63%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) (R6 62.7%)</li> </ul>	<b>A</b>
<p><b>取組内容②【施策7-2 (教員の資質向上・人材の確保)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スクリーニング会議や児童理解研修会、人権教育実践交流会などを通して、状況共有を図る。</li> <li>メンター研修や授業研修会を実施し、教育の質の向上を図る。巡回指導や関係機関との連携を図り、児童支援を充実させる。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員アンケートにおいて、教育の質の向上を図るために、学校課題や児童生徒情報等の情報共有や、研修会の充実を図っていると回答する教職員の割合を100%にする。(R6 100%)</li> </ul>	<b>A</b>
<p><b>取組内容③【施策8-2 (「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館司書との連携を図り、調べ学習に必要な図書の選定や学校図書の選定などを行う。</li> <li>図書委員会児童やボランティアによる読み聞かせを行い、読書に親しむ機会を増やす。</li> <li>玄関に毎日新聞を設置し、文字に親しむ機会を増やす。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6経年 79.9% 校内調査 79.4%)</li> </ul>	<b>A</b>
<p><b>取組内容④【施策7-1 (働き方改革の推進)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりの日を週1回設定・実施する。</li> <li>年間の標準時数を大幅に超えることがないよう、計画的に授業時間数の調整を図る。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教員の割合を100%とする。[ただし、管理職を除く]</li> </ul>	<b>B</b>

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【取組内容①】

心の天気を毎日入力することで、ICT活用のきっかけになっている。まなびのポータルに配置されているアプリを使ったり、インターネットを使って、学習を進めている。また、デジタルドリル navima によって基礎基本の反復をしたり、skymenu や google のソフト、Canva などを活用して、意見を集約したり、新聞やポスターにまとめたりすることができた。一人一人に応じた学習方法を選択することができている。休み時間にも活用している姿も見られた。

タブレットの活用率は 82.8%であり、目標を達成することができた。

さらに、情報モラルに関する指導も行い、児童は SNS やスマホ・オンラインゲームとの接し方について学んできた。

### 【取組内容②】

教職員アンケートの肯定回答が100%となっており、目標を達成することができている。スクリーニング会議が毎月行われており、児童に関する情報共有ができていく。それだけでなく、児童の情報共有は日々、教職員間で行われており、管理職への報告や相談につなげている。課題解決のために委員会を開いたり、全教職員へ報告することなどもあった。また、区役所などの関係諸機関とも連携しており、児童の支援につなげている。

メンター研修や校内研修が計画的に実施されており、教育の質の向上に努めてきた。音楽の研究授業や、生活指導の研修会、ICT 活用研修会などの研修があり、さらに、毎月行われているメンター研修でも、様々な課題に対する研修会が実施されてきた。

### 【取組内容③】

校内の児童アンケートでは、読書が好きな児童は 83.5%となっており、目標を達成することができた。図書館司書との連携を図り、図書館の環境整備に努めてきた。調べ学習に必要な本や教科書に掲載されている本を選定し、準備してきた。同時に最新の絵本なども購入し、子どもたちが楽しく読書できるようにしてきた。学級文庫も年度初めに学年に応じた本を、図書館司書に選んでもらっている。

図書委員会による図書館開放や読み聞かせの取り組みが行われ、読書週間には読書カードによる啓発や、毎日朝の時間を読書タイムとすることで、読書活動が推進された。調べ学習などでも図書館がよく活用されている。

### 【取組内容④】

ゆとりの日が毎週設定され、計画的に実施されてきたため、「学校園における働き方改革プラン」にの勤務時間の基準2を満たす教員の割合は 100%となっている。

低学年では2週に1回1コマ減らすよう設定し、授業時間数を大幅に超えないよう計画的に調整が図られた。どの学年も授業時間数が多すぎず少なすぎないように調整されている。

## 次年度（今後）の改善点

- ① タブレットの持ち帰りにより、タブレットを忘れた児童の対応や、重くなった荷物の対応を考える必要がある。
- ② 研修会が多すぎるので、精選し、年間計画を見直す必要がある。
- ③ 本に親しむ環境づくりを継続して行っていく。
- ④ 授業時数をさらに減らすことはできるが、これ以上減らすと、混乱が生じる恐れがあり、検討が必要である。